

新潟市北区郷土博物館 令和3年度事業報告

1 展示活動

(1) 常設展示 「阿賀北の大地と人々の暮らし」(考古・歴史・民俗・芸術(書))

(2) 企画展及び関連事業

① 常設展拡大企画 昭和の暮らし展 昔の子どもたちの日々(前年度から継続)

常設展示の一つのテーマを掘り下げて展示する企画展。小学校3年生社会科「かわる道具と暮らし」の授業内容とも連携させることができる企画として、平成28(2016)年度より開催。シリーズ5回目のテーマは「昔の子どもたちの日々」。学校で使われていた教科書や備品、手作りの遊び道具などのほか、家の“働き手”として子どもたちも使った道具を展示し、生活の苦労の中にあつた数々の工夫や楽しみを紹介した。

- ・会 期 R3. 1/5(火)～5/16(日)
- ・入館者数 2,494人
- ・展示点数 99点(内訳 民俗資料67点(参考資料2点含む)、写真27点、イラスト5点)
- ・展示構成
 - まなぶ(学校でまなぶ・家でまなぶ)、はたらく、あそぶ
 - 体験コーナー(会期中随時)・ひみつ基地で遊ぼう(昔の遊び)
 - ・天びん棒を担いでみよう
- ・展示解説会
 - 実施日・参加者数・講師 4/10(土)・4人 4/24(土)・14人 曾部珠世(両日)

② 美術企画展「本の読みかた、愛しかた」

知の宇宙ともいふべき百科全書。「読める本」の限界に挑戦した「豆本」。実用から逸脱した愛蔵のための極小本や工芸的な私刊本。「本とは何か」をさまざまに表現してみせる美術作品。文字を「読む」のではなく、「見ること」を求める折帖(おりじょう)。知の蓄積が発生の起源である「博物館」において、「本とはなにか」をさまざまな視点から探究。本とは「読むもの」「読まねばならないもの」という常識を覆す本の奥深さを紹介した。

- ・会 期 6/5(土)～7/11(日)
- ・入館者数 755人
- ・出品作家(予定) ※太字は、当館所蔵作品・資料を出品
 - 池田純夫、上田桑鳩、笠井千鶴、佐藤公平、長沢明、深井隆、舟見俊二
 - 他に、高橋友太郎が企画・発刊した私刊本、弦巻松蔭旧蔵の豆本
- ・展示点数 52点
- ・作品鑑賞会
 - 実施日・参加者数・講師 6/20(日)・10人 7/4(日)・15人 神田直子(両日)

③ 第24回 松蔭賞書道展

郷土出身の書家 弦巻松蔭にちなみ、書に親しむ機会づくりの一環として市内の児童・生

徒から課題作品を公募して開催した。応募点数は2,273点で、入選・入賞作品238点を展示。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、一日に3回、部門別に表彰式を開催した。

- ・主催 新潟市北区
- ・会期 7/24(土)～8/29(日)
- ・入館者数 1,004人
- ・対象 新潟市内の小学校3年生～中学生
- ・審査員(五十音順) 伊豆名皓美氏(にいがた文化の記憶館 学芸員)
岡村 鉄琴氏(新潟大学教育学部 教授)
佐藤 奎玉氏(書家・新潟県書道協会参事)
和泉 哲章(新潟市立白南中学校 校長)

- ・応募校等 北区内 … 小学校10校 中学校 5校
- 市内他区… 小学校 3校 中学校 6校
- 書道教室… 10校
- 個人応募… 11人
- ・学年別応募数内訳(点)
※()内は教室・個人

小3	395 (49)
小4	577 (46)
小5	419 (56)
小6	408 (62)
中1	277 (24)
中2	95 (21)
中3	102 (25)
合計	2,273 (283)

- ・入賞者数 238人
- 松蔭賞 7人 (各学年1人) 優秀賞 21人 (各学年3人)
- 特選 70人 (各学年10人) 佳作 140人 (各学年20人)

④ 第14回 新潟市北区こども科学展

新潟市北区の小・中学校児童・生徒が、夏休みに取り組んだ創意工夫、探究心にあふれる作品を「模型」「標本」「発明工夫」「観察・実験」の4部門で公募し、発表・展示した。

- ・主催 新潟市北区
- ・会期 9/18(土)～10/10(日)
- ・入館者数 1,090人
- ・対象 北区内の小・中学生
- ・審査員 坂井 孝(南浜中学校 校長)
田中由美恵(岡方第二小学校 校長)
小林 伸(北区教育支援センター 所長)
東理 守(北区地域総務課 課長)
川崎 裕子(北区郷土博物館 館長)
- ・参加校 北区内小学校9校
- ・出品点数(出品者数) …149点(149人)
 - ・模型の部 … 59点(59人)
 - ・標本の部 … 9点(9人)

- ・発明工夫の部 … 17点 (17人)
- ・観察・実験の部 … 64点 (64人)

⑤ 美術企画展「眼と手のあいだー4人の作家がみつめた風景」

風景画に取り組んできた池田則美(1955-)、齋藤満栄(1948-)、鶴巻加代(1946-)、西村満(1935-)という新潟市北区にゆかりのある4人の画家が描き出した世界を通して、画家のまなざしと創造の秘密を探る。

- ・会 期 11/13(土)～12/12(日)
- ・入館者数 949人
- ・出品作家 ※太字は、当館所蔵作品を出品
池田則美、**齋藤満栄**、鶴巻加代、西村満
- ・展示点数 絵画作品 14点
- ・作品鑑賞会
実施日・参加者数・講師
11/21(日)・26人 神田直子
11/28(日)・15人 齋藤加奈

⑥ 常設展拡大企画 昭和の暮らし展ー日々をいろどる「食」の風景

昭和の時代に使われていた昔の道具を展示し、その暮らしを紹介する「昭和の暮らし展」シリーズの第6回展。今回は、さまざまな食事のシーンを通して活力あふれる昭和の一断面を紹介。

- ・会 期 R4. 1/4(火)～5/8(日)
- ・入館者数 1,134人(3月15日現在)
- ・展示点数 76点
- ・展示構成
家での食事(普段の食事、特別な日の食事)
外での食事(レストラン、学校、旅)
体験コーナー(会期中随時)・天びん棒を担いでみよう
・食の思い出掲示板
- ・展示解説会
実施日(予定)・参加者数・講師
3/26(土)・4/23(土)・5月7日(土) 齋藤加奈

2 教育普及事業(講演会・講座・教室・講師派遣等)

(1) 博物館で楽しむ琵琶の調べ

新潟県文化祭2021芸術家派遣事業(主催 新潟県)の一環の出前コンサート事業に参加し、博物館内で古典芸能を鑑賞するミニコンサートを開催。琵琶の演奏と演奏者によるトーク。

- ・期 日 10/24(日) 11:00～ / 14:00～
- ・参加者数 各回25人

- ・出演者 茅野琛水氏・師岡響水氏（薩摩琵琶演奏グループ 琵琶舟）
- ・会場 ホール

（2）講師派遣

① ご近所だんぎ「クイズで学ぼう 福島潟の新田開発」

- ・主催 新潟市豊栄地区公民館
- ・期日 5/13（木）
- ・講師 曾部珠世
- ・参加者数 20人
- ・会場 新潟市豊栄地区公民館

② 講座「クイズで学ぼう 福島潟の新田開発」

- ・主催 サロン秋葉会
- ・期日 6/24（木）
- ・講師 曾部珠世
- ・参加者数 20人
- ・会場 川西住良公民館

③ 民具学会公開研究会での報告「低湿地の民俗資料の収集と活用を振り返る」

- ・主催 新潟県民具学会
- ・期日 11/7（日）
- ・講師 曾部珠世
- ・参加者数 59人（会場36人、オンライン23人）
- ・会場 新潟市歴史博物館

④ 名誉館長事業「遠藤麻理と福島潟の妖怪たち」への出演・野外石造物の説明

- ・主催 水の駅「ビュー福島潟」
- ・期日 11/14（日）
- ・講師 曾部珠世
- ・参加者数 65人
- ・会場 水の駅「ビュー福島潟」

⑤ 早通南小学校4年生総合的な学習「新井郷川から世界へ（早通地区の水害と地形について）」

- ・主催 新潟市立早通南小学校
- ・期日 12/2（木）
- ・講師 曾部珠世
- ・参加者数 4年生児童＋7人
- ・会場 新潟市立早通南小学校

⑥ とよさか中高年教養大学 一般教養講座「現代美術への招待（3）」

- ・主 催 とよさか中高年教養大学
- ・期 日 12/11（土）
- ・講 師 神田直子（講師派遣）
- ・参加者数 30人
- ・会 場 葛塚コミュニティーセンター

（3）他館主催事業への協力

① 展示説明等

- ・主 催 新潟県立歴史博物館
- ・事業名 県立歴史博物館講座「地域の資料館へ行って 生活用具をウォッチング」
- ・期 日 6/26（土）
- ・講 師 曾部珠世
- ・参加者数 8人

（4）学習サポート（学校への職員派遣）

① 南浜小学校3年生総合的な学習の時間「発見！南浜の歴史・・・こんなに違う！今と昔」

- ・期 日 R4. 1/13（木）
- ・講 師 齋藤加奈（学習サポーター）
- ・参加者数 3年生児童（約10人）

（5）レファレンス

- ・市民の郷土史学習サポート、資料調査協力、歴史資料や郷土史関連図書の閲覧対応
- ・他の博物館や大学など研究機関への協力

（6）刊行物販売

3 ふるさと学習

学校や地域などと連携し、資料の紹介や展示見学の利用を図る。

（1）学校教育の一環としての利用

① 新潟市立豊栄南小学校2年生 生活科の授業のためのインタビュー映像撮影対応

- ・期 日 8/6（金）
- ・講 師 齋藤加奈
- ・参加者数 1人（担任教諭）
- ・会 場 常設展示室、ホール

② 新潟市立葛塚東小学校4年生（社会科「福島潟の干拓の歴史」）

- ・期日と人数 12/7（火）・65人

12/9 (木)・65人

- ・講師 曾部珠世
- ・会場 常設展示室 (両日)

③ 新潟市立葛塚東小学校3年生 (社会科「かわる道具と歴史」)

- ・期日と人数 1/19 (水)・64人
1/20 (木)・64人
- ・講師 齋藤加奈 (両日)
市民ガイド 延べ3人
- ・会場 常設展示室、ホール「昭和のくらし展」

④ 新潟市立岡方第一小学校3年生 (社会科「かわる道具と歴史」)

- ・期日と人数 2/1 (火)・12人
- ・講師 齋藤加奈
市民ガイド1人
- ・会場 常設展示室、ホール「昭和のくらし展」

⑤ 新潟市立岡方第二小学校3年生 (社会科「かわる道具と歴史」)

- ・期日と人数 2/18 (金)・14人
- ・講師 齋藤加奈
市民ガイド1人
- ・会場 常設展示室、ホール「昭和のくらし展」

(2) 一般の地域学習の場としての利用

① 郷土・新潟を元気にする会「幕末・明治の北区の教育者 曾我簡堂」

- ・期日 4/3 (土)
- ・講師 曾部珠世
- ・参加者数 37人
- ・会場 集会室

② 新潟県石仏の会 (巡検での常設展示説明)

- ・期日 10/8 (金)
- ・講師 曾部珠世
- ・参加者数 14人
- ・会場 常設展示室

4 市民ガイド（常設展示ボランティアガイド）の活動

市民ガイド研修（スキルアップ研修、情報共有・情報交換）の実施、来館者対応についての調整の事務等。

(1) 活動実績（4月～R4. 2月）

個人や団体の見学者に対し、常設展示を中心としたガイドを行うもの。

- ・一般団体見学対応 2回（見学者93人（寺尾上町自治会育成部、県消費者協会新潟支部）、市民ガイド延べ7人）
- ・個人見学対応 10回（見学者130人、市民ガイド延べ16人）
- ・学校見学対応 5回（見学者219人、市民ガイド延べ6人）

(2) 市民ガイド研修

市民ガイドのスキルアップと情報共有を図る目的で行う。

① 当館企画展関連研修と情報交換

「昭和のくらし展 昔の子どもたちの日々」での研修（担当 曾部）と、令和2年度の活動実績報告、コロナ禍での令和3年度の活動について等の意見交換（担当 齋藤）を行った。

- ・実施日 4/24（土）
- ・参加者数 市民ガイド7人
- ・担当 曾部珠世、齋藤加奈
- ・研修場所 北区郷土博物館

② 当館企画展関連研修と情報交換

「美術企画展 本の読みかた、愛しかた」での鑑賞研修（担当 神田）と、8月以降の活動の確認、コロナ禍でのガイド方法の再確認と意見交換（担当 齋藤）を行った。

- ・実施日 7/11（日）
- ・参加者数 市民ガイド4人
- ・担当 神田直子、齋藤加奈
- ・研修場所 北区郷土博物館

③ 当館企画展関連研修と情報交換

「美術企画展 眼と手のあいだー4人の画家がみつめた風景」での鑑賞研修（担当 神田、齋藤）と、上期の活動実績報告・11月以降の活動の確認等（担当 齋藤）を行った。

- ・実施日 11/21（日）
- ・参加者数 市民ガイド3人
- ・担当 神田直子、齋藤加奈
- ・研修場所 北区郷土博物館

④新潟市文書館施設見学・企画展見学

施設見学と、企画展「文書館所蔵資料から見る水とのたたかひ」の見学を、同館職員のご案内・解説（講師：高橋純氏）とともにいき、近世の新潟市域における治水の歴史を学んだ。

- ・実施日 R4. 3/12 (土)
- ・参加者数 市民ガイド4人
- ・担当 齋藤加奈
- ・研修場所 新潟市文書館

5 博物館実習、職場体験等の受け入れ

(1) 博物館学芸員課程履修の実習生の受け入れ

- ・実習期間 8/28 (土)～9/4 (土)のうち7日間
- ・実習生 3人(新潟大学)

6 郷土資料収蔵庫・横井の丘ふるさと資料館の管理

- ・環境整備 ・虫の侵入防止 ・空調管理(郷土資料収蔵庫のみ)
- ・一般公開中止の分館 横井の丘ふるさと資料館は、令和4年3月31日廃止。

7 所蔵資料(指定文化財含む)の保管・整理

(1) くん蒸処理の記録(郷土資料収蔵庫)

- ・収蔵資料のくん蒸処理(令和2年度「昭和のくらし展」で展示した民俗資料、新収蔵資料等をくん蒸。10/4(月)～10/8(金))
- ・防虫防菌処理。10/6(水)

(2) 所蔵資料の整理の整理(収蔵歴史資料の目録点検と入力)

8 所蔵資料の貸出と写真等の使用の許可の記録

(個人への貸出等は除く)

許可日	資料名	目的	貸出・許可先
3/13 ※貸出期間は 4/1～R4.3/31 ※H23.4/1以降 貸出継続	・森下古銭出土地 古瀬戸[瓶子]、 ・森下古銭出土地 銭貨94枚、 ・伝佐渡沖海底 珠洲焼[壺] (畠山佑二コレクション)、 ・華報寺墓跡 珠洲焼[壺] (畠山佑二コレクション)	新潟市文化財センターでの展示	新潟市文化財センター
3/31 ※貸出期間は 4/1～R4.3/31	オオヒシクイ剥製 (アクリルケース入り)	水の駅「ビュー福島潟」での展示	水の駅「ビュー福島潟」
7/30	・松影D遺跡出土 土器5点 ・馬見坂遺跡出土土器・土製品 15点	企画展「倭国大乱～律令国家成立までの	新潟市文化財

許可日	資料名	目的	貸出・許可先
		越後平野」での展示、印刷物等への掲載	センター
8/15 ※貸出期間は 8/18～11/26	<ul style="list-style-type: none"> ・高森神楽のお頭 ・「モントオシ（山口賢俊氏撮影）」、「コヤシまき（植木克夫氏撮影）」等の写真 10 点 	企画展「むかしのくらし展 新潟のくらしと年中行事」での展示、印刷物等への掲載	新潟市歴史博物館
9/29 ※使用期間は 10/4～	<ul style="list-style-type: none"> ・『新潟県の運搬具』掲載写真等（山口賢俊氏撮影） <p style="text-align: right;">写真 11 点</p>	常設展示「協力と工夫の米づくり」のコーナーに写真パネルとして展示するため、写真を使用・掲載	新潟県立歴史博物館
10/29	<ul style="list-style-type: none"> ・福島潟での投網 ・福島潟でのヒシ採り ・新井郷川を行く蒸気船（蒲田豊太氏撮影） 2 点 ・新井郷川の河道改修工事 ・葛塚・本町通り（内山誠七氏撮影） ・葛塚・稲荷神社の火の見やぐらから見た本町通り <p style="text-align: right;">写真 7 点</p>	テレビ番組「夕方ワイド新潟一番」で北区の昔の街並みを紹介するため写真を使用	株式会社テレビ新潟放送網
R4. 1/4	<ul style="list-style-type: none"> ・木崎村小作争議 無産農民学校上棟式（大正 15 年 7 月 25 日） <p style="text-align: right;">写真 1 点</p>	2024 年度文部科学省検定教科書『ともに学ぶ人間の歴史』の図版資料として使用	株式会社学び舎
R4. 2/15	<ul style="list-style-type: none"> ・綿（わた）の実を綿と種に分ける ・綿から糸を作る ・糸の長さを計る ・糸を藍で染める ・糸束（カセ）を糸枠に巻く ・たて糸の長さや本数を整える ・たて糸をチキリ棒に巻く ・フェに糸を通す ・オサに糸を通す ・横糸をセットして織り始める ・フェに糸を通す（カラー） 	ギャラリーのHPや商品パンフレットで、葛塚縞の手織りについて写真で紹介するために使用	雪月の鳥

許可日	資料名	目的	貸出・許可先
	・オサに糸を通す (カラー) 写真 12 点		

9 北区の文化財（指定文化財ほか）の調査整理・公開活用・保護

(1) 調査整理

- ・木崎村小作争議 100 周年事業にかかる調査（「10 特色ある区づくり事業」）

(2) 公開活用

①文化財等説明板の修繕

- ・板面修繕 1 件（木崎村小作争議と無産農民学校）
- ・塗装 4 件
- ・QRコード追加 2 件

(3) 保護育成

- ・くん蒸処理（収蔵資料等）（再掲）
- ・市指定天然記念物「大久保の大ケヤキ」に関する対応（降雪による折れ枝の伐採）
- ・市指定文化財「法淳寺」に関する対応（暴風雨による本堂外壁及び屋根装飾のき損）
- ・「看板（無産農民学校西入口）」（市指定文化財）の修復（項目 10 を参照）

10 特色ある区づくり事業「2022 木崎村小作争議 100 周年事業」

（令和 2～4 年度の 3 ヶ年事業の 2 年目）

木崎村小作争議は、農民が自らの生活の改善を目指した運動で、大正から昭和初期の農民運動として全国的にも知られている。令和 4（2022）年度がその 100 周年にあたることから、この運動が北区で起こったことを再認識してもらうことを目的として実施するもの。

あわせて、次世代に引き継ぐために、劣化の進んでいる歴史資料の修復を行う。

【令和 2 年度】

- ・令和 4 年度の 100 周年に開催する企画展で展示予定の「看板（無産農民学校西入口）」（新潟市指定文化財）の修復を行うために、看板の状態調査を東北芸術工科大学へ委託し、調査を行った。
- ・県立文書館等で木崎村小作争議に関する歴史資料の所在確認調査を行った。

【令和 3 年度】

- ・東北芸術工科大学に委託し、「看板（無産農民学校西入口）」の修復を行った。
- ・修復した看板の保存ケース兼展示ケースを作成した。

- ・企画展のための準備（資料調査・選定、広報印刷物・パンフレットの作成、パネル制作など）を行った。

【令和4年度】（計画）

- ・企画展「生活の向上を求めた小作農民と地主眞嶋桂次郎展—史料でさぐる小作と地主それぞれの思い—」の開催。
- ・修復した「看板（無産農民学校西入口）」の同展での公開。
- ・企画展関連事業として、講演会とゆかりの地を巡るバスツアーを開催。
- ・北区内中学生の郷土学習の機会として、見学会（日時 6月下旬～7月中旬）を予定
- ・企画展終了後は、企画展のまとめ・講演会の報告・修復の報告等をまとめた記録集を作成。

令和3年度入館状況

3月15日 現在

月別	北区郷土博物館 入館者数(人)	横井の丘ふるさと 資料館 入館者 数(人)	主な行事
4月	610	—	昭和のくらし展—昔の子どもたちの日々 1/5～5/16
5月	470	—	昭和のくらし展—昔の子どもたちの日々 1/5～5/16 (計2,494人 ※4/1～5/16は911人)
6月	553	—	美術企画展 本の読みかた、愛しかた 6/5～7/11
7月	570	—	美術企画展 本の読みかた、愛しかた 6/5～7/11 (755人) 第24回 松蔭賞書道展 7/24～8/29
8月	800	—	第24回 松蔭賞書道展 7/24～8/29 (1,004人)
9月	781	—	第14回 新潟市北区こども科学展 9/18～10/10
10月	648	—	第14回 新潟市北区こども科学展 9/18～10/10 (1,090人)
11月	530	—	美術企画展 眼と手のあいだ—4人の画家がみつめた風景 11/13～12/12
12月	677	—	美術企画展 眼と手のあいだ—4人の画家がみつめた風景 11/13～12/12 (949人)
1月	530	—	昭和のくらし展—日々をいろどる「食」の風景 1/4～5/8
2月	372	—	昭和のくらし展—日々をいろどる「食」の風景 1/4～5/8
3月	232	—	昭和のくらし展—日々をいろどる「食」の風景 1/4～5/8 (1,134人 ※1/4～3/15)
合計	6,773	0	

・「入館者数」は、館内に入場した人数です。展覧会観覧者数や事業参加者数の合計とは異なります。
 ・横井の丘ふるさと資料館は現在休館中です。

月別入館者数調べ(本館のみ)

(人)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	四半期 R3/R2
4月	464	426	379	434	510	649	698	272	610	165.1%
5月	610	504	446	547	427	554	527	185	470	
6月	587	376	674	743	683	535	589	532	553	
7月	1,117	1,081	888	1,231	1,198	790	606	427	570	119.3%
8月	850	757	1,039	882	1,135	952	1,003	526	800	
9月	1,220	1,360	1,331	982	1,302	1,040	1,048	850	781	
10月	910	532	452	0	575	698	798	481	648	99.4%
11月	924	1,181	1,289	1,201	1,015	990	1,557	781	530	
12月	428	193	580	582	337	418	354	605	677	
1月	370	260	551	769	510	422	671	665	530	71.6%
2月	647	635	714	656	323	701	738	468	372	
3月	925	1,094	426	875	492	516	306	450	232	
合計	9,052	8,399	8,769	8,902	8,507	8,265	8,895	6,242	6,773	